令和 6 年第 7 回久米島町議会定例会一般質問

令和6年9月9日～9月11日

令和6年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	保久村 登	1. 仲里幼稚園問題について	9月9日(月)
2	喜久里 強	1. ふれあい公園、仲里公園、パークゴルフ場等、町管理施設に防犯カメラの設置について	
		2. スポーツ大会等で島外、県外大会へ出場する児童、生徒、学生に奨励金を	
3	盛本 實	1. 農業振興について	
		2. 道路の新たな景観形成について	
		3. 災害復旧について	
4	真栄平 建正	1. 防災対策について	
		2. 観光振興について	
		3. 幼稚園・小中学校の統廃合について	
5	赤嶺 秀徳	1. 観光振興について	
		2. 防犯街灯について	
		3. ゴミ減量化対策について	

令和6年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1. 久米島町景観計画の推進について 2. 無電柱化の推進について 3. 南海トラフ巨大地震について 4. 久米島海洋深層水事業の推進について 5. 離島甲子園について	9月10日(火)
2	田端 努	1. 本町立中学校2校の体育館の雨漏りについて 2. 字嘉手苅地区土地改良の排水問題について 3. 本町の地域防災の取り組みについて	
3	吉永 将志	1. 給食センターについて 2. ターミナルケアへの対応について 3. コロナワクチンについて 4. シルバー人材センターについて	

4	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治について
		2. 南海トラフ地震情報に伴う対応
5	新垣 幸子	1. 災害対策の今後の取組について
		2. 地域行政懇談会について
		3. 町営バスと観光バスの現状について
		4. 第2期久米島町子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）について

9月10日（火）

令和6年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	棚原 哲也	1. 松くい虫対策について	9月11日(水)
		2. バーデハウス及び風森(銭田森林公園)の再開について	
		3. 港湾機能の強化について	
2	富永 肇	1. スポーツ振興について	
		2. 学校教育について	
3	喜久里 猛	1. 未来を見据えた災害対策について	

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	保久村 登	1. 仲里幼稚園問題について	<p>1. 仲里幼稚園の現状、問題点及び解決策について、教育委員会の見解を伺いたい。</p> <p>(1)現状は、「廃止」か。「休園」か。 「休園」だとした場合、その根拠は何か。学校教育法施行令39条、63条に定める「非常変災その他窮迫の事情があるとき」に該当すると考えているのか、それとも、他の根拠があるのか。</p> <p>(2)教育委員会は、仲里幼稚園の問題について、何らかの審議、決定を行ったか。</p> <p>(3)教育委員会は、仲里幼稚園の問題について、教育長が処理した事務の報告を受けたか。受けたとすれば、その報告を承認したか。</p> <p>(4)教育委員会は、仲里幼稚園の問題に関して教育長が処理した事項の適否について審議したか。したとすれば、その結果は。</p> <p>(5)教育委員会は、久米島町立幼稚園管理規則37条(委任)「この規則の施行のために必要な事項は、教育長が定める」により、「休園措置」に関する権限を教育長に委任したのか。</p> <p>同規則には、「休園措置」に関する規定はないのに、「休園措置」に関する事項が、その施行のために必要な事項といえるのか。</p> <p>2. 仲里幼稚園の問題につき、町民から教育委員会に対して陳情があったか。あったとすれば、同陳情に関する教育委員会の審議結果を伺いたい。</p> <p>3. 仲里幼稚園の人的体制を整えるための採用計画の立案、採用試験の実施、採用決定の時期について伺いたい。これまで、新年度スタート時期において、職員を確保できなかった事例があったか。あったとすれば、どのように対処したか、伺いたい。</p> <p>4. 教職員が年度途中において、退職ないし休職の意向を示した場合の対応について伺いたい。</p>	教育長	<p>1. (1)令和6年度仲里幼稚園は「休園」となります。学校教育法施行規則第63条については、学校長が判断し、その後教育委員会に報告するものであります。休園については、久米島町立幼稚園管理規則第37条を根拠としております。</p> <p>(2) (3) (4) 3月4日の定例教育委員会において、預かり保育会計年度任用職員の確保が厳しく、状況によっては1園実施にせざる得ない現状等について報告を行いました。3月12日、19日に両園長と意見交換。3月25日に臨時教育委員会にて、令和6年度仲里幼稚園を休園とし、清水幼稚園1園での運営とすること等の報告を行い承認を得ました。</p> <p>(5)久米島町立幼稚園管理規則第1条で久米島町立幼稚園の管理及び運営に関し基本的事項を定め、第37条でこの規則の施行のために必要な事項は教育長が定めるものと認識しております。</p> <p>2. 陳情内容としては4項目です。</p> <p>①「教員(人材)確保の際には2園実施を行ってほしい。」につきましては、幼稚園教育の目的、目標が達成できるよう、各園においては入園から修了までの1年間を見通した教育課程(カリキュラム)や、それに基づく指導計画を編成しています。特に、本町の幼稚園は5歳児の1年教育であることもあり、年度途中において2園実施とすることは、教諭、園児の負担が大きいと考えることと、教育効果の側面からも、年度途中の2園移行は考えておりません、人材確保ができた場合は、清水幼稚園での園児の安全確保等の支援の充実を図ってまいります。</p> <p>②「①が行われるまでは預かり保育の送迎を行ってほしい。もしくは仲里幼稚園から清水幼稚園までのガソリン代を補助してほしい」につきましては、幼稚園教育(14時まで)における送迎については、保障(送迎対応)いたします。預かり保育については保護者での対応をお願いしたいと考えております。</p> <p>③「清水幼稚園の緊急避難方法、場所の再検討。」につきましては、清水幼稚園の津波避難の際の1次避難場所は、基本、大田辻となっております。大田辻は、町の指定した津波避難所であり、清水幼稚園から最も近い津波避難場所となっていることから、現在のところ変更の予定はありません。地震津波等の状況によっては、小学校校舎屋上への垂直避難についても想定しております。</p>	教育課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>④「教員(人材)確保の時期、方法の再検討。」につきまして、新年度に向けた、会計年度任用職員等の採用に係る公募時期等については、可能な限り前倒しできるよう、町総務課と調整してまいります。</p> <p>3. 幼稚園本務教諭の採用については、久米島町職員採用試験実施要綱に基づき、久米島町職員全職種共通の取り組みとして実施しております。令和7年度久米島町職員採用候補者試験の予定としては、令和6年8月募集、9月に第1次試験実施、11月に第2次試験実施、採用候補者の決定は11月を予定しています。</p> <p>これまで、新年度スタート時において、幼稚園教育を担う幼稚園教諭を確保できなかったことはありません。預かり保育を担う会計年度任用職員についても、新年度スタート時において、人材確保ができなかったことはありませんが、毎年、新年度スタートぎりぎりまで、人材確保に苦慮しております。</p> <p>4. 退職の場合、職員採用候補者名簿に登載されている者がいる場合、名簿登載者からの採用となりますが、名簿登載者がいない場合は、臨時的任用職員の配置となります。その人材も確保できない場合は、2クラスをまとめて1クラスにする等、運用の工夫により対応することとなります。</p>	

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	喜久里 強	1. ふれあい公園、仲里公園、パークゴルフ場等、町管理施設に防犯カメラの設置を	最近、町管理施設やその付近でいかがわしい格好をする男性や卑猥な言葉を発する男性がいるとの話を耳にする。風紀が乱れているという事です。この施設は朝から晩まで、子供たちから大人、お年寄りまでたくさんの方々が運動や散歩、また憩いの場として町民が利用する場所であります。安全で安心して利用できるようにぜひ防犯カメラの設置を。	町長	公園を含む公共施設へ防犯カメラを設置することにつきましては、悪質なマナー違反や犯罪の抑制等の効果も期待できませんが、設置につきましては、他市町村の事例も参考にし、慎重に検討を進めてまいります。	環境保全課
		2. スポーツ大会等で島外、県外大会へ出場する児童、生徒、学生に奨励金を	最近、久米島町出身でスポーツ等の県内外での活躍には目を見張るものがあり、我々久米島んちゆにとって、この上ない喜びであり、感動を与えてくれる。しかしながら保護者の費用的負担は大きいものがある。 そこで町長に伺う。 この方々に久米島町より奨励金を贈ったらどうか。	教育長	現在、本町では中学校部活動大会派遣の補助とし、渡航費、宿泊費の補助を行っております。また、久米島町体育協会では、島尻郡夏季大会等へ各種競技への派遣費補助を行っております。	教育課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	盛本 實	1. 農業振興について	<p>去る7月23日～26日に町内4地域において「一人ひとりの意見が地域農業の未来を拓く」というテーマで第1回久米島農業未来会議を開催しておりますが、次の件について伺う。</p> <p>(1)開催趣旨について (2)結果について (3)今後の取り組みについて</p>	町長	<p>(1)開催趣旨につきましては、人口減少や農業従事者の高齢化に伴い農業を取り巻く環境について厳しい状況が想定される中、この先10年、20年と農地を適切に利用し、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を策定するため、開催しております。</p> <p>(2)結果につきましては、4地区33名の方に参加いただきました。会議では、まず地域計画とはどのようなものかを説明した後、参加者による地域の将来の農地利用について話し合いを行っております。</p> <p>(3)今後の取り組みにつきましては、今回いただいた意見を踏まえ目標地図の素案を作成し、令和7年3月までに地域計画を策定いたします。</p>	産業振興課
		2. 道路の新たな景観形成について	<p>松くい虫被害対策として「戦略的放置」方法による手法で進めようとしていますが、道路植栽の松においては恐らく放置木としての取り扱いになろうかと思えます。そうした中、町民が日常利用、また観光用道路としての幹線的な役割を果たしている道路(特に県道)の植栽においても被害が日々拡大している状況にあります。枯死後対策では、本町の認知度向上の為のキャッチフレーズである「自然豊かな島」とは相反した状況であるため、この機にすべての松の道路植栽を伐倒し樹種変更をして新たな道路景観を形成した方が良いと思うが、どのように考えるか伺う。</p>	町長	<p>道路植栽の松くい虫対策については、五枝の松周辺は樹幹注入を行い対策を行っております。</p> <p>今後の樹種選定を含む植栽計画や、道路景観のあり方については県と調整してまいります。</p>	建設課
		3. 災害復旧について	<p>過去の異常気象により、至る所において土砂崩壊等が発生し災害の爪痕が未だに残っている状況にあります。特に指定文化財である具志川城跡、伊敷索城跡周辺の法面崩落は周囲への影響が懸念されるが、今後の対策について伺う。</p>	教育長	<p>国指定史跡「具志川城跡」については、空港側の法面が令和5年8月に崩落しております。崩落後、国、県への報告の上、検討したところ、この部分については、郭内への影響が見られない事、崩落土砂の民間地への流入がないことから、現状を注視して行くこととしております。県指定史跡「伊敷索城跡」については、今年6月18日の大雨により、城壁の一部が含まれる形で崩落しております。今後の対策については、崩落部分が文化財指定地外となることから、全庁的な検討が必要になると考えています。まず、できる事として、安全確保のため、城内の一部で立入を制限しております。また、今後の復旧方法を検討することを目的に、県補助により測量を実施します。尚、崩落後の崖が内側に湾曲し大変危険であることから、ドローン測量を予定しております。</p>	博物館

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	真栄平 建正	1. 防災対策について	真泊地内の土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊特別警戒区域)について ・特別警戒区域と警戒区域の違い。指定に伴いそれぞれの町が実施すべき計画等は。 ・被害が想定される家屋数は。 ・対策事業の計画は。	町長	・土砂災害警戒区域については、急傾斜地の崩落等が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制をとる必要があります。特別警戒区域については、前文の条件に加え、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が追加されます。 ・土砂災害警戒区域に16戸の家屋が区域内にあります。 ・対策事業について、沖縄県へ問い合わせたところ、事業計画はないとの返答でした。	総務課
		2. 観光振興について	高速船の就航について ・高速船就航のアンケート結果は。 ・高速船の就航によるメリットとデメリットはどのようなことがあるか。 ・運営会社とどのような協議がされているか。町の担うべき役割は。	町長	・高速船就航のアンケート結果につきましては、平成27年度の調査では、久米島に高速船が必要と感じている島民が90%でした。令和3年に行われた実証運行でも、概ね好評な結果が得られました。 ・高速船就航のメリットは、アクセス手段が増えることで観光客が増加し、地域経済が活性化する点です。また、町民にとっても沖縄本島との往来が便利になります。一方、前回の調査では運営費用などの課題から行政主導での導入を断念しましたが、今回の民間企業による計画は課題を克服し、就航を目指しています。現在、国の認可に向けて調整中であり、町としてデメリットについて言及する立場ではないと考えています。 ・運営会社とは進捗状況の共有は行っていますが、具体的な協議はまだありません。今後、航路認可の進展に応じて協議が進むと考えています。町の役割は、2次交通の確保など、受け入れ体制を整えることです。	プロジェクト推進課 商工観光課
		3. 幼稚園・小中学校の統廃合について	1. 本年実施されている、清水幼稚園の統合に関する陳情書について ・陳情内容とそれぞれの町長の見解を。 2. 小中学校の統廃合計画について ・統廃合の最終決定者と根拠法は。 ・現在の進捗状況と今後のスケジュールは	教育長	1. 陳情内容として ①「教員(人材)確保の際には2園実施を行ってほしい。」につきましては、幼稚園教育の目的、目標が達成できるよう、各園においては入園から修了までの1年間を見通した教育課程(カリキュラム)や、それに基づく指導計画を編成しています。特に、本町の幼稚園は5歳児の1年教育であることもあり、年度途中において2園実施とすることは、教諭、園児の負担が大きいのと考えることと、教育効果の側面からも、年度途中の2園移行は考えておりません、人材確保ができた場合は、清水幼稚園での園児の安全確保等の支援の充実を図ってまいります。 ②「①が行われるまでは預かり保育の送迎を行ってほしい。もしくは仲里幼稚園から清水幼稚園までのガソリン代を補助してほしい」につきましては、幼稚園教育(14時まで)における送迎については、保障(送迎対応)いたします。預かり保育について	教育課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>は保護者での対応をお願いしたいと考えております。</p> <p>③「清水幼稚園の緊急避難方法、場所の再検討。」につきましては、清水幼稚園の津波避難の際の1次避難場所は、基本、大田辻となっております。大田辻は、町の指定した津波避難所であり、清水幼稚園から最も近い津波避難場所となっていることから、現在のところ変更の予定はありません。地震津波等の状況によっては、小学校校舎屋上への垂直避難についても想定しております。</p> <p>④「教員(人材)確保の時期、方法の再検討。」につきましては、新年度に向けた、会計年度任用職員等の採用に係る公募時期等については、可能な限り前倒しできるよう、町総務課と調整してまいります。</p> <p>2. 町立学校の設置・廃止につきましては、学校教育法第2条の規定により設置者である市町村が行うこととなっております。学校設置・廃止については、条例事項となっており、久米島町立学校設置条例の改正により最終決定となります。</p> <p>昨年度は、本町の学校の現状及び小規模化が進むことで教育上どのような課題があるか調査研究を行い、地域説明会等において町民にお伝えするとともに適正規模・適正配置に関するアンケート調査を行いました。今年度は、昨年度の結果を踏まえ、適正規模・適正配置の基本方針の取り纏めを行っており、それをもとに学校統合・再編の基本方針の策定に取り組んでいく予定としております。</p>	

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	赤嶺 秀徳	1 観光振興について	<p>町長は、令和6年度施政方針で商工・観光産業の活性化と題して観光産業への取り組みについて述べています。その中で昨年度はマラソンをはじめ恒例イベントも4年ぶりに通常開催され人の往来も回復しつつあるとしながら、観光入域客はコロナ禍前の9割程度の戻りで、依然と厳しい状況が続いている。また、事業者においては、コロナ禍からの回復に向けて鋭意取り組んでいる折、物価高騰や人手不足も相まって経営に苦慮していると認識している。コロナ禍を契機に世界情勢の変化や人々の価値観の変容を踏まえ、落ち込んだ観光入域客の速やかな回復とそれを上回るよう効果的かつ効率的な施策を講じる。そのためには、町、町民、観光事業者、観光関係団体が一体となって魅力ある観光地の形成を推進する。などと久米島町観光振興条例の理念に基づき、関係団体が一丸となって取り組めるよう推進体制の充実が重要と考えたと述べています。</p> <p>5点について伺う</p> <p>(1) 令和6年度も4分の1四半期が経過しました。第3次久米島町観光振興基本計画に基づく体制の強化の推進は図られているか。</p> <p>(2) 落ち込んだ観光入域客の速やかな回復のための対策を具体的にどの様に行うか。</p> <p>(3) 事業経営に苦慮している事業者等への支援対策等の現状について</p> <p>(4) 現存する観光施設等の改修改善等の美化について</p> <p>(5) 新たな観光への取り組みについて伺う。</p>	町長	<p>(1) 第3次久米島町観光振興基本計画では、島民と来島者が交流や協働を通じて関係性を深めながら、ともに持続可能な島の未来をつくる「共創ツーリズム」を展開することを基本理念に掲げ、その推進体制として観光協会、DMO、観光関連事業者、経済団体、行政及び島民それぞれの役割を整理し、互いに補完しあいながら連携強化し、効果的、効率的に事業展開していくこととしています。</p> <p>(2) 入域観光客の回復に向けた取り組みとして、特に課題である閑散期の誘客を重点的に取り組むこととしており、教育旅行やMICE、チャーター便の誘致、スポーツコンベンションの推進の他、観光庁等の補助金を活用したコンテンツ造成を関係団体、民間企業と連携して取り組んでいます。</p> <p>(3) 観光事業者に対する久米島町独自の経済支援は行っておりませんが、沖縄県が実施している「沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業」について、町HPや観光協会等を通じて周知しているところです。</p> <p>(4) 観光地にある公共トイレの洋式化を年次的に進めているほか、一括交付金を活用し、公園や景勝地等の美化に取り組んでいます。また、観光協会を中心に海岸美化活動を展開しています。</p> <p>(5) 第3次久米島町観光振興基本計画では、久米島の気候風土、自然環境、島民の暮らし、文化、歴史などの有形無形の地域資源と観光を掛け合わせるにより、観光が持つ力を島の課題解決や地域経済の活性化に繋げ、持続可能な観光地づくりを展開してまいります。</p>	商工観光課
		2 防犯街灯について	<p>各字地内に設置されている防犯灯の電気料金について町が一部負担するなどの支援をすることができないか伺う。</p>	町長	<p>集落内防犯灯の電気料金については受益者負担が原則ですが、支援について区長会から要望等があれば検討してまいります。</p>	建設課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3 ゴミ減量化対策について	町長は、6年度施政方針の環境保全と地域美化のなかで、ゴミのない島づくりのためには町民の意識改革が最も重要である。正しいゴミの分別を推進してゴミの減量化を図り快適な生活環境づくりに努めると述べられています。3点伺う (1)町民の意識改革への方策は考えているか。 (2)正しいゴミの分別を意識させる為の方策をどのように推進するか。 (3)ゴミの減量化にどのような対策を講じていか伺う。	町長	(1)(2)ゴミの減量化を図るためには、町民及び事業者がこれまでの意識を転換し、生活様式や事業活動をできるだけゴミを出さず再生利用を促進するものに見直していくことが重要になります。正しいゴミの分別につきましても今年度より収集の際に適正なゴミの出し方を徹底する為、分別の悪いゴミ袋には再分別のシールを貼るなど、減量化に向けての取り組みを強化しております。 (3)今後の対策につきましては、引き続き、正しいゴミの分別の徹底やリサイクルの推進などについて情報発信を行い、減量化に関する啓発に努め、町民と共にゴミの減量化に取り組んでまいります。	環境保全課
6	幸地猛	1. 久米島町景観計画の推進について	久米島町景観計画では、イービーチリゾート地区エリアは本町を代表する観光エリアとして位置づけ気品あるリゾート地として景観形成を図るとある。以前にイービーチリゾート地区の(株)くみき久米島出張所の移転等に町の考えを一般質問しました。その後の対応では(株)くみき久米島出張所に確認したところ、現時点での移転などの予定はないという回答を得たとある。 第3次久米島町観光振興計画においても宿泊施設、飲食店などが集積し、昼夜を問わず島民も観光客も訪れる最も人が集まるエリアであるという。 今後の久米島町の観光振興においてもJA(株)くみき久米島出張所の移転等については重要課題だと考える。町で土地利用計画を策定して再度協議できないものか、伺う。	町長	イービーチリゾート地区については、島の中核的なにぎわいエリアとしての活性化を目指すこととしており、宿泊施設、飲食店等、集落、観光協会、DMO、行政が連携して中長期的なエリアのあり方を協議しながら、島民にも観光客にも居心地のよいエリアづくりを進める必要があります。町においても移転等については重要課題であると認識しており、関係課とも連携しながら協議したいと考えております。	産業振興課 商工観光課 企画財政課
		2. 無電柱化の推進について	沖縄県では路上から電柱を減らしていく無電柱化の推進がすすめられている。「防災性の向上」、「安全で快適な通行空間の確保」、「良好な景観形成」等の観点から、官民一体となって無電柱化を進めているという。久米島町の無電柱化計画について、伺う。	町長	無電柱化推進計画については、今年度中に策定する予定で取り組んでおります。 良好な景観形成や、安全・安心な暮らしを確保するため、無電柱化に取り組んでまいります。	建設課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 南海トラフ巨大地震について	久米島町への影響と、その対応について伺う。	町長	南海トラフ巨大地震について、国が公表しているデータによると、本町への影響は少ないものと思われます。ただ、沖縄県内において沖縄本島東海岸を中心に被害想定がなされておりますので、自然災害については、想定外を考慮し対策を講じていきたいと考えております。	総務課
		4. 久米島海洋深層水事業の推進について	久米島海洋深層水事業の概算事業費について、国、沖縄県、久米島町、民間の負担分について積算内訳がなされているか、伺う。	町長	大規模取水管を実施できる明確な事業メニューが無いため、国・県等の明確な補助・負担割合については計算されておられません。	プロジェクト推進課
		5. 離島甲子園について	去る、8月18日から野球を通じて「島」と「島」の交流を図る目的で長崎県壱岐市において離島甲子園大会が開催された。久米島から久米島U15チームが参加しているが、参加者の自己負担であるという。 久米島町では2010年から2019年まで連続して参加している。国土交通大臣杯離島中学生大会であり、大会の趣旨からしても、これまで同様公費負担で行うべきではなかったのか、伺う。	教育長	離島甲子園は、これまで、島外との交流機会の少ない本町の子どもたちに交流の機会を設けることを目的に公費にて事業を実施してまいりました。 本町の他の交流事業としては、中学生全員を対象とした、中学校部活動に対する各種大会派遣費事業や中学1年生全員を対象とした久米島町・佐賀市交流事業を実施しております。機会の平等性の観点から、他の交流事業との整合性等を検討した結果、公費での事業実施は難しいと考えております。	教育課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	田端 努	1. 本町立中学校2校の体育館の雨漏りについて	球美中学校・久米島西中学校の二校とも体育館の雨漏りが酷く、体育館を使用しての行事や授業等に支障をきたしている点について伺う。 (1)雨漏り調査の状況と結果について (2)今後の修繕計画について	教育長	(1)雨漏調査の結果として、球美中学校体育館で全面的な雨漏り、久米島西中学校でアリーナ片面の雨漏りを確認しております。 (2)今年度、体育館修繕設計業務を実施、修繕工事については令和7年度以降の実施予定としております。	教育課
		2. 字嘉手苅地区土地改良の排水問題について	以前より当該地区土地改良では、大雨や梅雨の時期に洪水による集水柵の詰まりや、側溝等の構造上の問題と思われる原因で、道路上まであふれた水により、数か所の畑では毎回のように冠水し流される状況にあることから、以下の点について伺う。 (1)洪水後の被害調査は適切に行っているか。 (2)側溝・集水柵の構造上の改善は出来ないか。 (3)集水柵の詰まりの原因である、農地からの流出物(赤土・石・さとうきび葉ガラ等)に対する農家への指導を適時行っているか。	町長	(1)被害調査において畑の流出等を確認しております。 (2)側溝、集水柵の構造上の改善は、地区全体の調査を行い補助事業での対応が必要と考えているため、補助事業採択に向け取り組んでまいります。 (3)農家への指導等につきましては、適宜、適正管理について声掛けを行うよう努めております。また、5月に赤土流出防止対策支援についてのチラシ配布やFMでの放送、7月に農地の適正管理について広報に掲載し、農家への啓発活動を行っております。	(1)建設課 (2)建設課 (3)産業振興課
		3. 本町の地域防災の取り組みについて	これまでに本町の防災に対する取り組みについて質問・提案をしてきたが、4月の津波警報発令があった後、町民の防災についての意識が強くなったと感じるため、以下の取り組みの現状について再度伺う。 (1)地域防災計画の見直しは行っているか。 (2)各世帯が非常時に持ち出せる防災セットなどの提案は出来ないか。	町長	(1)地域防災計画の具体的な見直しは行っておりませんが、町民皆様の防災意識の高まりに合わせ、周知活動に力を入れております。特に広報誌において呼びかけを行っております。 (2)非常時に備え、防災セットの準備は非常に重要なことだと考えております。町防災ハザードマップにおいても「非常時持ち出し品の準備・チェック」に掲載し情報発信に努めておりますので、日ごろの備えについて改めて周知していきたいと考えております。	総務課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	吉永 将志	1. 給食センターについて	<p>(1)食の拠点事業施設整備までは、まだ時間がかかる。現施設での抱えている課題を伺う。</p> <p>(2)現況を改善していく為には、現場の声が最重要だと考える。職員との意見交換を行っているか伺う。</p> <p>(3)保護者から「給食が足りない日が何度もある。」との声が聞こえる。給食が足りない状況が起こる理由を伺う。</p> <p>(4)子どもたちから「以前より美味しくない。」等の声が聞こえる。減塩等、肥満や健康面への取組だと考えられるが、残飯状況はどうか伺う。</p> <p>(5)保護者・子どもたちの声を聴くことが必要だと考える。保護者へのアンケート等の実施状況を伺う。</p> <p>(6)抱えている課題に対しての具体的対応案を伺う。</p>	教育長	<p>(1)現施設は、築48年を経過し建物の劣化及び厨房機器等の修繕を行いながら、運営している状況です。空調設備が無く、近年、夏場の暑さ対策が大きな課題となっています。</p> <p>(2)基本的に、毎日ミーティングを行っております。</p> <p>(3)学校給食は、学校給食摂取基準に基づき、適切に摂取できるよう食品を組み合わせで献立を作成し、一人前の量を算出し人数分を配缶していきます。足りない状況が起こる理由としては、よく食べる学校、クラスがあり、逆に残量が多いケースもあり、好き嫌いのある献立もあると考えます。</p> <p>(4)美味しくない理由としては、「嫌いなものが出るから」「量が多いから」「家で食べないものが出るから」などが想定されます。バランス良く食べてもらうため、献立を工夫していますが、野菜を多く使ったサラダや炒め物、ヒジキやモズク等海藻を使った献立の残量が目立ちます。</p> <p>(5)食育授業の中で、リクエスト給食や児童生徒が好きな献立を組み合わせた献立等も取り入れていますが、アンケートは行っておりません。</p> <p>(6)学校給食は、安心安全で適切な栄養摂取のもと、健康の保持増進を図ることとされております。老朽化した現施設では、衛生管理面でのリスク要因が高く、具体的な対策等は不十分ですが、暑さ対策や学校給食に対するご意見等に対応すべく、現場との意見交換や献立検討会を実施してまいります。</p>	学校給食センター
		2. ターミナルケアへの対応について	<p>(1)最後の時を住み慣れた自宅で迎えたいという要望は多い。久米島町ではターミナルケアへの十分なサービスが行き届いているか伺う。</p> <p>(2)課題解決に向けた取組状況と今後の目標を伺う。</p>	町長	<p>(1)現在、公立久米島病院、訪問看護、介護事業所と連携して対応しておりますが、人材不足のため厳しい現状はあります。しかしながらターミナルケアにつきましては優先し対応しております。町としては、関係機関と連携しながら本人及び家族への相談に対応しております。</p> <p>(2)人材不足が喫緊の課題であります。人材育成のための研修等を取り組んでまいります。</p>	福祉課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. コロナワクチンについて	<p>(1)新型コロナウイルスワクチン接種の国内・国外の動向を把握しているか伺う。</p> <p>(2)県内・県外の接種状況について伺う。</p> <p>(3)全国的にワクチン接種回数のタイミングと比例して超過死亡数が増えている。久米島町のワクチン接種開始からの死亡超過数の増加はあるか伺う。</p> <p>(4)町としてワクチン接種を推奨するにしても副作用やワクチン後遺症の事例が増えていることを周知することが必要と考える。今後の進め方の予定を伺う。</p>	町長	<p>(1)国内の新型コロナウイルスワクチンについては、令和6年度から予防接種法上の定期接種に位置付けられることとなり、今後はワクチンの確保及び接種において、町が医療機関と調整・連携して遂行することとなっております。国外の動向については把握しておりません。</p> <p>(2)県内・県外においても国の指示により、定期接種として位置づけられ、10月以降コロナワクチン接種を行ってまいります。</p> <p>(3)久米島町においては、コロナワクチン接種率が減少傾向となっておりますが、死亡率との因果関係は把握できない状況となっております。</p> <p>(4)コロナワクチンの副反応・後遺症については個人差がありますが、安全性については国の審議会での評価を踏まえ、特段の懸念はないものと考えております。周知については、予診票を発行する際に説明書を同封し、今後も同様に周知を図ってまいります。</p>	福祉課
		4. シルバー人材センターについて	<p>(1)現在、全国で1340団体が設置されている。沖縄県では18団体が設置。久米島町の設置が出来ていない理由をどう考えているか伺う。</p> <p>(2)今後の目標を伺う。</p>	町長	<p>(1)(2)シルバー人材センターは、都道府県知事の指定を受けた社団法人で民間の団体となります。</p> <p>同当センターは、地域の家庭や企業、公共団体等から仕事を受注し、会員として登録した高齢者の中から適任者を選んで仕事を遂行します。課題の一つに挙げられるのは、これらの一連の事務を担える方の確保かと思われれます。</p> <p>民間としてセンターの設立意欲と、一連の事務を担える方の確保ができれば、連携してまいりたいと思います。</p>	福祉課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治について	<p>長崎市は「原爆の日」9日、G7のうち米英6か国とEUの大使らが、イスラエルを招いていないとの理由で式典を欠席した。</p> <p>私からすれば、ガザ地区虐殺を見ればアメリカのバイデンもイスラエルのネタニヤフ同様ICJ(国際司法裁判所)から逮捕状を発布すべきと考える。ジェノサイドの共犯者だからだ。ロシア・ウクライナ戦争もアメリカCIAが仕掛けたマイダン革命も同様だ。各国ほとんどの戦争の諸悪の根源はアメリカだ。</p> <p>次には「台湾有事」に理屈をつけ、金門島にもアメリカのグリーンベレーを配備、訓練。金門島は中国福建省との距離が那覇泊港とチービン間の近距離だ。アメリカが、中国を挑発しているのは明らかだ。しかし台湾有事になると、アメリカは兵隊を参戦させない。武器を売りつける死の商人だから。このような危機的状況を想定し、次の質問をする。</p> <p>(1)先だっの鳥島射爆撃場におけるヘリによる実射訓練は劣化ウラン弾だと思われるがどうか。</p> <p>(2)町長はこれまで「町民の健康診断結果並びに町民の死因等を分析結果などを総合的に検討すると、放射性物質の影響はないものと考える」と答弁している。これは正確な検証に基づくものか。</p> <p>(3)ジョン・ミッチェルのアメリカ公文書は事実そのものの公文書だ。いつまで隠そうとするのか。</p> <p>(4)町内各区毎「疫学調査」を求めているが拒否。町民の命と健康を守るための手法だ。実施するのか。</p>	町長	<p>(1)日米合同訓練において、鳥島射爆撃場の使用は確認しておりますが、実弾訓練においてそのような報告は受けておりません。</p> <p>(2)国の調査において、平成9年から平成14年に実施した鳥島並びに久米島の陸域及び周辺海域における環境調査の結果、劣化ウランの影響は認められないことが確認されたとして、自然環境や住民の健康への影響がないと町及び町民に対して報告を行っております。また、平成15年以降は、久米島の陸域で放射能調査を行っておりますが、人体に影響を与える結果は出ておりません。</p> <p>(3)公文書につきましては、関係機関に事実関係を照会しておりますが、現時点において確認はできておりません。また、軍転協をとおして入手できるよう県へ要請も行ってありますので、引き続き、公的機関から入手できるよう努めてまいります。</p> <p>(4)先ほどの(2)の答弁のとおり国の調査により影響がないものと判断できますので、独自調査の予定はございません。</p>	総務課
		2. 南海トラフ地震情報に伴う対応	<p>今や「南海トラフ」が話題。30年以内いつでも大地震が起きてもおかしくないと言われる。私は町内でも犠牲者の出る可能性が高い区域が数か所とみる。特にイーブビーチホテル前の砂浜の採取問題だ。次のことについて伺う。</p> <p>(1)同所の砂丘を掘り起こし、砂浜が大分低くなっている。所有管理者は誰か。</p> <p>(2)グンバイヒルガオ・アダン・クサトベラ等も撤去されているが、誰の許可を受けたのか。又、その根拠は。</p> <p>(3)同所近くに人工ビーチ建設の声もあるが事実か。</p>	町長	<p>(1)イーブビーチの管理者は沖縄県となっており、所管は沖縄県南部農林土木事務所です。</p> <p>(2)イーブビーチホテル前面のヒルガオ等については、これまでの台風等による影響を受け、大量の砂が堆積し、観光地としての景観上の大きな問題となっていたことから、宿泊事業者が主体となって、県南部農林土木事務所と調整の上、漂砂除去及び海浜整地を行ったものと認識しております。</p> <p>(3)人工ビーチ建設の計画はありません。</p>	(1)商工観光課 (2)商工観光課 (3)建設課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	新垣 幸子	1. 災害対策の今後の取組について	<p>去る4月3日に台湾地震が発生した。また、8月8日に宮崎県南部で震度6弱の地震があったが、震源地の宮崎県日向灘は、南海トラフ巨大地震の想定震源域内にあり、気象庁は初の南海トラフ地震臨時情報を発表した。防災対策の再確認が必要である。ここで、2点伺う。</p> <p>(1) 前回の答弁内容に、「車移動に対応した避難経路の確保と迅速な人員配置、備蓄保管のない避難場所における飲料水供給や簡易トイレの設置等、防災訓練においても実施できるよう取組んでまいります。」とありましたが、今年の防災訓練において、それらを実施するのか伺う。あわせて、どのように周知するのか伺う。</p> <p>(2) イーフ地区や奥武地区に避難タワーの設置を強く要望したいが、ご見解を伺う。</p>	町長	<p>(1) 4月3日に発生した台湾東部沖地震の津波警報発令により、様々な課題が出ております。全ての課題解決に向け取り組んでいきますが、まず関係機関との連携強化を図り、避難誘導の見直しを行うこととしております。また防災訓練においてもこれまでの課題を考慮して対応していきたいと考えております。</p> <p>(2) 以前より一般質問においても議論され、地理的条件からイーフ地区や奥武島については、避難タワーの必要性は感じておりますので、整備に向け町全体の整備計画をとりまとめ対応していきたいと考えております。</p>	総務課
		2. 地域行政懇談会について	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で開催されておりましたが、是非開催することを要望致します。</p> <p>(1) 開催するとしたら、いつ頃になりますか。</p> <p>(2) 町民からのご意見や要望、質問に対しての回答を広報誌に掲載して欲しいが、ご見解を伺う。</p>	町長	<p>(1) 今年度なるべく早い時期に開催したいと考えております。</p> <p>(2) 町民の皆様からいただいたご意見等については、広く周知することは大変有意義なことだと思っておりますので、広報誌も含め検討してまいります。</p>	総務課
		3. 町営バスと観光バスの現状について	<p>(1) 町営バスと観光バスの現状(乗務員数、バス台数契約形態等)について。</p> <p>(2) 共創による地域交通人材育成事業の成果と課題について。地域公共交通会議の開催や地域公共交通計画の状況について。</p>	町長	<p>(1) 町営バス乗務員数については6名を委託契約しており、バスの台数については4台(中型2台マイクロ2台)にて運行しております。また、観光バスに関しては6月末で事業廃業しており、現在、新規参入事業者にて沖縄総合事務局へ運行申請の手続き中であります。</p> <p>(2) 昨年度において、久米島町共創モデル人材育成事業委託業務を実施しております。各事業者へヒアリングを行ったところ貨物輸送や交通等で運転手の高齢化や人材不足が大きな課題となっております。今後においては、事業において浮き出た課題を基に地域公共交通計画を作成し、課題解決に向けて取り組めます。</p>	商工観光課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 第2期久米島町子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)について	<p>(1)本町の基本理念について伺う</p> <p>(2)特に、乳幼児期の教育・保育の方向性について (例えば、将来、認定子ども園にするのか、現在のままの公立幼稚園や公立保育所及び民間の保育所を活かした運営を継続するのか、あるいはその他の案等が考えられる。)</p> <p>(3)「第3期久米島町子ども・子育て支援事業計画」作成の具体的なスケジュールを伺う。</p>	町長	<p>(1)基本理念は「すこやかに育ち笑顔あふれる久米島っ子」 ○子どもたちは限りない可能性を持つ存在であり、子ども一人一人の豊かな個性を育むとともに、自ら考え、判断し、行動できる「生きる力」を身につけることが大切です。次代を担う子どもたちの可能性を最大限に伸ばし、一人一人がのびのびと健やかに育っていくことができるよう、子どもの最善の利益を尊重し、家庭、学校、地域が一体となった子どもの健全な成長を支えるまちづくりを目指します。 ○全ての子育て家庭が地域において安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを進め、子どもたちも家庭や地域の愛情を感じながら健やかに成長していくことで、健全な世代構成が継続していけるまちづくりを目指します。 (2)方向性につきましては、第2期久米島町子ども・子育て支援事業計画の実施評価をすすめる中で、改めて整理していくところです。 (3)今後の予定としましては、9月に子ども・子育て支援に関するニーズ調査を実施します。調査結果を取りまとめ事務局で素案を作成後、11月に第1回久米島町子ども・子育て会議を予定しております。</p>	福祉課
1	棚原 哲也	1. 松くい虫対策について	<p>本町では道路景観を形成する為、県道の植栽樹の至る所に琉球松が植栽されている。</p> <p>(1)県道沿いに植栽されている松くい虫の被害の木の調査はなされているか。</p> <p>(2)一部伐倒処理した地域があると思うが、場所及び伐倒本数、処理方法を伺う。</p>	町長	<p>(1)県道の松くい虫被害については、調査を行い県に報告し予算確保を依頼しております。</p> <p>(2)伐倒処理した場所は、真我里・山城及び宇江城・仲村渠地区が多く、令和3年度から令和6年7月まで224本伐倒処理しております。処理については、処分ヤードまで運搬し焼却処分しております。</p>	建設課
		2. バーデハウス及び風森(銭田森林公園)の再開について	<p>(1)バーデハウス運営の再公募に向けての進捗状況は。</p> <p>(2)風森の運営主体やその方策についての検討結果は。</p>	町長	<p>(1)バーデハウス久米島の再生に向けては、本年度、国土交通省の先導的官民連携事業補助金を活用し、バーデハウス、フィッシャリーナ、パークゴルフ場及び旧久米島中学校の利活用など、それぞれのエリアの価値向上に向けたPPP導入可能性調査を行っており、現在、公募条件整理のためのサウンディング調査を実施しているところです。この調査結果を踏まえ、公募条件や要求水準を定め、各施設の再整備、有効活用に向けて連携して行う事業パートナーを年度内に選定する予定です。 (2)風の帰る森施設の運営主体はまだ決まっておりません。し</p>	<p>商工観光課</p> <p>プロジェクト推進課</p>

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					かしながら、施設に興味を示している業者が2社あり、対話を進めている状況であります。早期再開に向け、民間事業者と対話し運営形態などを含めた条件等の整理を進めてまいります。	
		3. 港湾機能の強化について	本町では物流の拠点となる港湾が島の南西側に位置する兼城港があるが天候に左右され利活用できない場合がある。島の南東に位置する島尻湾に二次的港湾を整備する考えはないか。	町長	兼城港湾の利用状況を確認し、物流等に影響があれば二次的港湾整備については県と調整してまいります。	建設課
2	富永 肇	1. スポーツ振興について	<p>スポーツ振興は町民の健康増進や地域間交流、スポーツ大会の開催やスポーツキャンプなどは経済的効果も大きいと考えます。本町はスポーツ振興にどのように取り組んでいるか伺います。</p> <p>(1)本町スポーツコンベンションの主な活動を伺う。 (2)町の健康増進の取り組みを伺う。 (3)町スポーツ大会の開催にあたり課題を伺う。 (4)令和5年7月から令和6年6月において本町でのスポーツキャンプ実績と受け入れの課題はあるか、また今後予定されている、スポーツキャンプ、大会の開催を伺う。 (5)競技指導者や競技審判資格取得の育成の取り組みは。 (6)久米島町公共施設管理計画上でスポーツ施設は今後どのような計画にあるか伺う。(新設、改修、複合化、廃止)</p>	町長	<p>(1)本町におけるスポーツコンベンションの主な活動内容は、久米島マラソンを始めとするスポーツイベントを通じた地域経済の活性化、地域住民の参加による地域振興のほか、プロ野球、社会人、大学の野球キャンプ、合宿を誘致し、閑散期の誘客戦略として展開しております。</p> <p>(2)SMAPやパークゴルフ場、ホタルドーム、運動公園等、町民が健康づくりに取り組むための環境整備に努めておりますが、生涯にわたり健康で心豊かな生活を営む為には、自発的・自主的な運動習慣の定着化や健康生活を実践できるよう育成が重要と考えます。併せて健診事業、子ども健康プロジェクト等町民が自主的に健康づくりに取り組むための意識醸成や、仕組みづくりに取り組んでおります。</p> <p>(3)町最大のスポーツイベントである、久米島マラソンを開催する上での課題としては、ボランティアの確保と宿泊施設の不足が課題として挙げられます。</p> <p>(4)令和5年7月から本年6月までの間に開催されたスポーツキャンプとしては、楽天イーグルスの春季キャンプを皮切りに、日本体育大学、中央学院大学、愛知学院大学、名城大学、鶴見大学及び社会人のホンダ鈴鹿が合宿を実施しました。これらの野球キャンプ・合宿を受け入れるにあたっての課題としては、施設及び設備の老朽化、施設と日程等に空きがない状況で問い合わせも多く新たに受入ができないことが課題があると認識しています。また、今後予定されているスポーツキャンプ、大会としては、10月の久米島マラソンを始め、12月にはリトルシニアメモリアルカップ、1月にはシドー杯パークゴルフ大会、2月にはJAL/JTA杯・久米島町長杯パークゴルフ大会が計画されている他、野球合宿としては、楽天イーグルス春季キャンプをはじめ、社会人2チーム、大学7チームの合宿が予定されて</p>	<p>(1)商工観光課 (2)福祉課 (3)商工観光課 (4)商工観光課 (5)教育課 (6)環境保全課</p>

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>おります。</p> <p>(5) 競技指導者や競技審判資格取得の育成の取り組みは、各団体において実施しております。</p> <p>(6) スポーツ施設の今後の整備計画につきましては、ほとんどの施設において計画的改修等の保全を行い、現在の施設の長寿命化を図るといった計画が策定されております。今後の施設管理を効果的に進める為にも、状況に応じた計画の見直し等も含め、協議を進めてまいります。</p>	
		2. 学校教育について	<p>(1) 連携型中高一貫教育の取り組みを伺う</p> <p>(2) 町営塾の取り組み内容を伺う。</p> <p>(3) 中学校部活動大会派遣費補助金額を伺う。</p> <p>(4) 全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)について今後の取り組み計画はあるか伺う。</p>	町長 教育長	<p>(1) 久米島町地域連携型中高一貫教育は、6年間の計画的・継続的な指導体制を生かし、自ら学び、自ら考え、人間性豊かな生徒の育成を目指し、全体的な学力向上に向けて各教科で連携を図り、6年間のゆとりある学習環境の中で確かな学力の定着と、久米島の自然や文化を学び、幅広い教養や郷土愛を育てることをねらいとしています。具体的には、教職員の授業力向上のための教科会、連携入試に向けて話し合う入試進路学習委員会、生徒の望ましい生活習慣の確立に向けての生徒指導委員会、中高合同で地域行事の企画運営を行う連携行事委員会、特別支援教育に関する情報交換を行う特別支援教育委員会を設置し取り組んでおります。当該年度の活動について、成果と課題を検証し、引き継ぎ事項報告書をまとめ、次年度に引き継いでおります。</p> <p>(2) 町営塾では、学習指導やキャリア教育などを通して、塾生の進路実現をサポートすることをミッションとしており、その取り組み内容としては、①学習指導、②キャリア指導、③高校との連携が主な内容となります。</p> <p>(3) 中学校部活動大会派遣費補助金額は、令和5年度実績7,151,430円。令和6年度当初予算7,250,000円となっております。</p> <p>(4) 離島甲子園は、これまで、島外との交流機会の少ない本町の子どもたちに交流の機会を設けることを目的に公費にて事業を実施してまいりました。</p>	(1) 教育課 (2) 企画財政課 (3) (4) 教育課

令和6年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					本町の他の交流事業としては、中学生全員を対象とした、中学校部活動に対する各種大会派遣費事業や中学1年生全員を対象とした久米島町・佐賀市交流事業を実施しております。機会の平等性の観点から、他の交流事業との整合性等を検討した結果、公費での事業実施は難しいと考えております。	
3	喜久里 猛	1. 未来を見据えた災害対策について	<p>去る6月の大雨による土砂災害のその後の対策はどうなっているか。また、今後の南海トラフ地震による津波対策はどう対処していくか。現状において次の件について回答願いたい。</p> <p>(1)大原・北原には避難誘導板が無い。海拔の基準に満たないのか。</p> <p>(2)鳥島の誘導板は正しいか。</p> <p>(3)一次避難場所の名称がない。</p> <p>(4)伊敷索城跡の復旧はどうなるか。</p> <p>今後の対策として、</p> <p>(1)平坦地の避難場所に遠い地域では避難棟を建築したかどうか。(奥武島、空港大原・北原)</p> <p>(2)伊敷索城跡の広場の勾配修正</p> <p>(3)土砂崩れ地域の種子吹きつけ等</p>	町長 教育長	<p>(1)大原地区は海拔19m、北原地区は海拔23mとなっていることから他地域に比べ海拔が高い地域となっております。</p> <p>(2)鳥島公民館の避難誘導版については、大きな通りを通行することを想定して表示しておりますが、避難の際には一刻も早く移動することが重要でありますので、最短ルートで移動することは重要だと思います。</p> <p>(3)防災ハザードマップに記載されております、表示には番号表記されておりますが、現地表示板には、その番号がございません。名称での把握とあわせて番号表記することで所在地の確認が容易になることも考えられますので、今後工夫して対応できればと思っております。</p> <p>(4)伊敷索城跡の復旧については、今後の復旧方法を検討することを目的に、県補助により測量を実施します。尚、崩落後の崖が内側に湾曲し大変危険であることから、ドローン測量を予定しております。</p> <p>(1)避難タワーの必要性については、町全体の整備計画を策定し検討してまいります。</p> <p>(2)伊敷索城跡の広場の勾配修正についてですが、城内の現状は、その勾配含め当時のままと考えられ、これを改変することは、文化財の保存上、問題があると考えております。しかし、今回の大雨に加え、この勾配により、水の流れが集中し崩落に影響したという事であれば、今後の保存対策において、検討が必要になると考えています。</p> <p>(3)土砂崩れ箇所の現場状況により異なりますが、種子吹付が有効であれば実施してまいります。</p>	<p>(1)総務課 (2)総務課 (3)総務課 (4)博物館</p> <p>(1)総務課 (2)博物館 (3)建設課</p>